

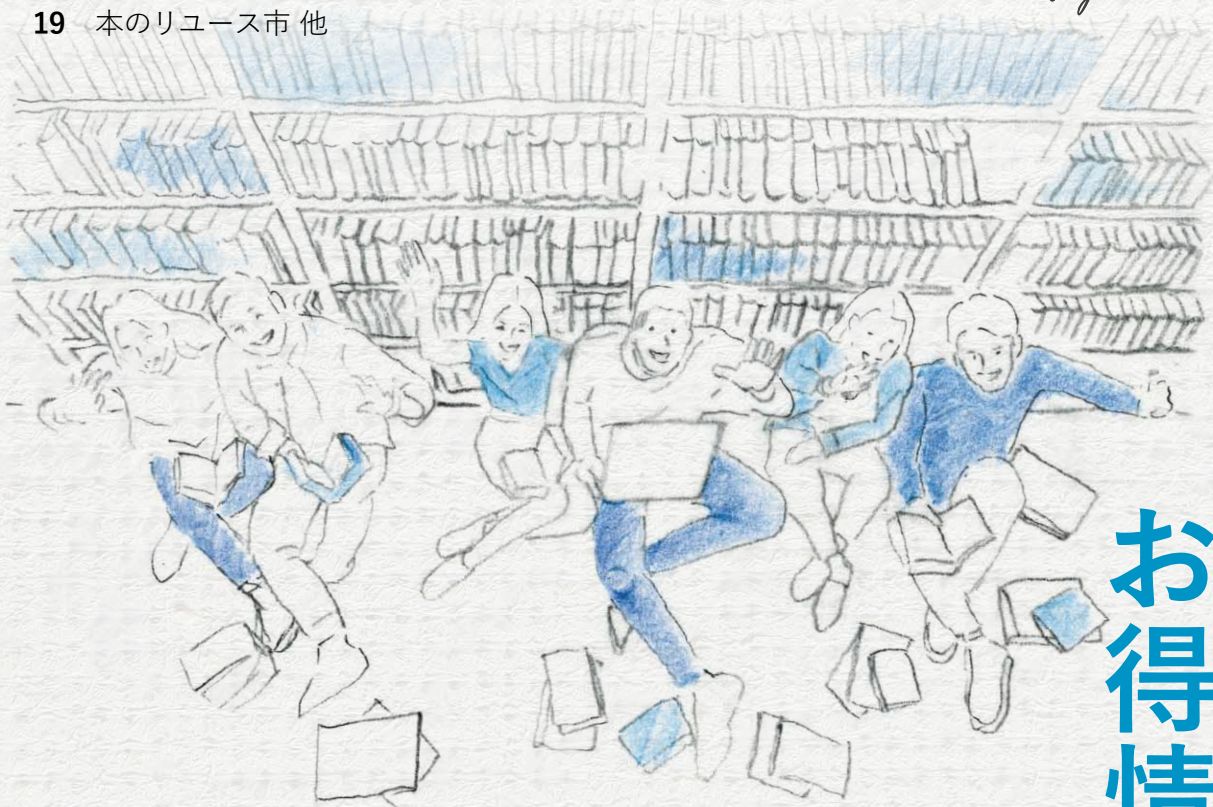
図書館forum

2024年 春号

No.21

- 01 総合図書館長インタビュー
- 03 福大図書館のお得10選
- 05 LAと一緒に才能を開花させよう！
- 07 オープンアクセスってなんだろう！？
- 09 福大生と先生の推し本！
- 11 歴史資料のforum(1)
江戸時代の村における年貢負担 藤方 博之
- 13 ようこそ本の世界へ(7)
図鑑を愉しむ ―ようこそ、図鑑の「沼」へ― 膽吹 覚
- 15 図書館＝資料だけじゃないんです
- 17 図書館のあるきかた
- 19 本のリユース市 他

*Don't judge a book
by its cover*



福大図書館の
お得情報



福井大学総合図書館長

中根幸治

学術研究院工学系部門繊維先端工学講座・教授

2023 年度から総合図書館長に就任

好きな本：祖国とは国語 / 藤原正彦著、ひかり北地に / 戸川幸夫著

好きなこと：八重山諸島滞在、秘湯巡り

中国の大学図書館を訪問して

2023年11月、約4年ぶりに中国出張の機会がありました。この時は福井大学と学術交流協定を結んでいる西安理工大学と上海理工大学を、機械工学講座の旭吉雅健先生と訪問しました。コロナ禍で中断していた実質的な交流再開の打ち合わせをすることが主たる目的でしたが、どちらの大学でも図書館を見学させていただく機会に恵まれました。両大学図書館の所蔵情報等はインターネットで調べることができるのでここでは割愛しますが、学生数が2万～3万人の大学なので図書館の規模も大きく、驚かされることが沢山ありました。

西安理工大学の図書館内には自習に使えるスペースが約5000席あるとのことでした。私が見学したのは日曜日の午前10時頃でしたが、非常に多くの学生が静かに自習している姿が見られ大変感心しました。本や論文を読んでいる学生、レポートを作成している学生、タブレットを見ながらメモを取っている学生など様々でしたが、自分の好きな場所を陣取って集中している様子が伺えました。西安に滞在中、日本語を専攻している大学院生と話す機会がありましたが、土日の大半は、図書館で朝から晩まで勉強をしていると言っていました。

中国の大学ではキャンパス内にある学生寮で生活している学生が多く、部屋は2人部屋や4人部屋の相部屋です（上海理工大学は全寮制だそうです）。このため、寮よりも図書館の方が静かな環境で集中して勉強ができるのもし

れません。訪問した時期は、中国の大学院入試が近づいていることもありましたが、時期を問わず利用者数は多く大盛況といったところでした。まさに中国の大学の学生にとっては、図書館は学生生活を送る上で中心的な役割を果たしていることを実感しました。福井大学の総合図書館も積極的に利用する学生がいるので嬉しく思っていますが、中国の大学図書館と比べるとまだまだ大盛況とは言えず空席が目立ちます。日本の学生と中国の学生では生活スタイルが違うかもしれませんが、積極的に図書館を活用し、自分の家とは異なって「書籍や文献が身近にあることのメリット」を実感してもらえると嬉しいです。

高騰する電子ジャーナルの購読料については中国の大学図書館も同じように厳しいとのことでした。しかし、図書館の予算が福井大学附属図書館の予算とは桁違いなので日本の大学とは規模が違う問題なのだと思います。現在、私の研究室に所属している博士後期課程の中国人留学生は、中国の大学では経費を気にせずいくらかでも論文をダウンロードができていたのに、福井大学ではダウンロード数を制限されることに戸惑ったようです。

論文のダウンロードによる経費の問題は、本学でも2023年11月から開始されている文献複写サービス「RapidILL」を使えば改善されます。RapidILLは電子ファイルではなく印刷物としてしか論文を入手できませんが、無料で次の日にカラーの印刷物を見ることができるのでとても有用で



大盛況な図書館の風景

①西安理工大学 ②上海理工大学

色々な教室を開催できるスペース

③天津工業大学

電子図書コーナー

④西安理工大学 ⑤上海理工大学

す。まだの方は是非使ってみてください。

コロナ禍になる直前の2019年12月に天津工業大学を訪問した時も、大学図書館を見学させていただいたことがありました。たしか、中国国内の大学図書館で当時一番大きい建物との説明があったと記憶していますが、どこの大学図書館もとても大きいのもはや建物の大きさを比べる意味はないように思えます。天津工業大学の図書館の1階は電車の駅舎と錯覚するほど長く広い建物が印象的でした。図書館の中には書籍や自習室だけでなく、茶道、将棋、習字、中国琴などの教室（一般の人も参加可能のようです）や合唱の練習などが行われており、文化施設としての用途など図書館の役割は多岐にわたります。西安理工大学の図書館では、色々なテーマでの学生討論会などが定期的に行われているとのことでした。今後、福井大学の図書館ももっと多くの人に利用してもらうために「人と人を繋ぐ、人と学術の交流」をポイントにして、色々なことを取り入れていかなければならないと考えています。その一つとして、医学図書館で既に行われている教員の研究紹介を2023年度後期から総合図書館でも開始しました。文京キャンパスは教育学部、工学部、国際地域学部と大きく異なる分野の学生がいるので、紹介内容を研究室に配属される前の低学年の学部生でも興味を持って見てもらえるように、できるだけ簡単に紹介してもらうことを担当の先生方にお願

いしています。研究は専門用語無くして紹介することは難しいと思いますが、ご理解・ご協力いただける先生方が多く、非常に読みやすく紹介してくださっているの、ぜひ多くの学生に見ていただきたいと思います。

私は初めて見たのですが、電子図書コーナーが西安理工大学にも上海理工大学にもあり、好きな本の写真にタッチしてQRコードを読み込むとスマホで書籍をダウンロードして読めるサービスがありました。調べてみると10年以上前からこのようなサービスは欧米の図書館で取り入れられています。福井大学にもあると手軽に本を読むことができるので導入できないものかと思いました。

上海理工大学の図書館内にはカフェや売店もあり気分転換にも、ついつい行きたくなる、長居したくなるそんな場所でした。

大学図書館は、本を読む、調べものをする場所というイメージが強いですが、多くの学生と教員が交流したり、知らないことをネットではなく図書館で探求することの楽しさを知ってもらったりしてこそ、大学生活の中心的な役割を果たすのだと思います。より多くの学生さんに使ってもらえそうなアイデアや情報がありましたらどしどしお寄せくださいます様、宜しく願いいたします。

知らないと損する！

福大図書館のお得10選

ぜんぶ、0円。福大生の特権です。賢く使って大学生活をお得に過ごしてください。
なお、大学によって図書館のサービスは違います。福井大学限定の情報です。

1 学習スペース

高校時代、公共図書館で空席を探し求めていますでした？
個人ブース、4人掛けテーブル、グループ学習室…学習スタイルに合わせて勉強する場所を選べます。Wi-Fi・電源も完備。

2 語学スキルアップ

大学1年の春が英語力のピークとも言われています。大学受験時に培った英語力を劣化させるのはもったいない！留学や就職に余裕を持って臨みませんか。
TOEIC、TOEFLの問題集など語学学習用の本、DVD、スピーキング用のブースもあります。

3 ラーニング・アドバイザー

入学早々迫られる履修科目の選択に困っていませんか。そんな時、大学院生のアドバイスが受けられます。
履修申請の期間、テスト期間前など、悶々と悩んでいないで行動しよう。
話しかけてしまえば単位はあなたの手に!？
➡ 5p.参照

4 専門書・雑誌・DVD

総合図書館、医学図書館の本、合わせて約45万冊が読み放題。貸出しは10冊2週間、延長したら最長3ヶ月使えます。理工学・医学・教育・人文社会系の専門分野の本も揃っています。

5 本のリクエスト

読みたい本が図書館になかった！という時はMyLibraryからリクエストしてください。リクエスト理由もね。

6 資料の取り寄せ

図書館になかった！けど、県立、市町の図書館にあれば無料で取り寄せられます。
実は、論文も無料で取り寄せられます。

7 ブックハンティング

たまには本屋さんでゆっくりゆったり本を選びたいなあ、お金ないけど。という方、図書館におく本を本屋さんで選んでもらうイベントやっています。
お金あっても参加お待ちしております。
➡ 9p.参照

8 いつでも読める

勉強中に調べものしたい時ってありますよね。
24時間365日、家でも外出先でも電子ブック・電子ジャーナルが読めます。小説も。

9 就活

就職活動なんてまだまだ先？でもどんな感じか知りたい時は、就活コーナー or 電子ブックで最新版の就活本。学部3年・院1年になったら使いこなしてください。

10 新聞

地方紙、中央紙、英字紙、専門誌揃っています。読み続ければ『活字』を読む習慣がつく、語彙力向上、学習力向上、考える力がつく、一般知識が広く身に付く、就職活動に役立つ、お得がたくさん。

お得な情報は他にもまだまだあります。

詳しくは [福井大学 図書館](#) > 利用案内 または、図書館のカウンターへ



総合図書館



医学図書館



ラーニングアドバイザーと一緒に 才能を開花させよう！

勉強に関することなら何でもお手伝いします。例えば・・・

履修科目の相談

大学では自分が興味のある講義を選択できる一方で、必修科目や選択必修科目など大学から指定されている科目を履修する必要があります。自由度の高さゆえに履修設計を誤ることなかれ。ラーニングアドバイザーと共にあなたにとって最適な履修計画を立ててみませんか？

進路相談

大学院に進学するか就職するかは皆さんにとって大きな悩みの1つだと思います。特に、理系大学生にとっては悩まれる方も多いでしょう。そんな悩みに院生であるラーニングアドバイザーが親身になって相談に乗ってくれます。同じ悩みを経験し院進学を選択した方と一緒に考えてみませんか？

授業課題・テスト対策の相談

大学の講義はこれまでの学びとは異なり、自分で学ぶ姿勢が求められます。初めて書くレポートや難しいと感じる課題もラーニングアドバイザーなら、分かるまで丁寧に教えてくれます。あなたも私たちと一緒に学びの扉を開きませんか？



こんなイベントもやってます

研究室見学会

ラーニングアドバイザーが所属する研究室を紹介します。実際に訪問し、雰囲気を肌で感じてもらい、研究についての疑問・質問をすることで、研究室に対するイメージを膨らませることができます。

ChatGPT 活用講座

ChatGPTを大学生活に活かすためのエッセンスをラーニングアドバイザーが解説。本学におけるChatGPT等の生成AIの活用ガイドラインを踏まえつつ、生成AIを使いこなすプロンプトエンジニアリングについて実践例を用いながら分かりやすく説明します。



- ①ChatGPT 活用講座
- ②-③研究室見学会
- ④ChatGPT 活用講座チラシ



4月から総合図書館にてお待ちしております。
Wi-Fi設定などPC関連の相談もOKです。

初めてづくしで大変な入学時期こそどんどん訊いて進化しよう

この記事は2023年度ラーニングアドバイザーが作成しました。

大学生なら
知っておこう！

オープンアクセス

ってなんだろう！？

学術研究発展のため誰もが無料で読めるように

大学生になると英語の論文を読む機会が増えてきます。

ネットから様々な情報に自由にアクセスできる便利な世の中ですが、大学等の研究者が研究成果を発表・投稿する学術雑誌の論文は誰でも読めるわけではなく、高額な購読料を所属機関や個人で出版社へ支払う必要があります。

学術研究発展のため、著作権を守りつつ誰もが無料で読めるオープンアクセスにしよう各国が動いています。2023年に日本で開催されたG7科学担当大臣会合で合意され、日本もオープンアクセスの加速化へと本格的に動き始めました。

具体的には、各機関の研究成果を公開するサーバー（機関リポジトリ）で公開する方法と出版社にオープンアクセス用の費用を支払い公開する方法があります。

前者は公開まで著作権の制限により平均半年～1年かかり、後者は即時公開ですがオープンアクセス費が何十万円もかかります。どちらも一長一短ですが、主にこの二つの方法でオープンアクセスを加速化しようとしています。

本学では、附属図書館が機関リポジトリへの登録・公開を行ってきましたが、オープンアクセス費も出版社と交渉し、Wiley、SpringerNature、Elsevierなど5社から即時オープンアクセスできる論文数を数十本獲得しました。

これにより、本学の研究論文に世界中の研究者がアクセスできる機会が増え、共同研究が進み学術研究発展に貢献できるようになります。

オープンアクセスに対する理解を深めるための講演会も開催しています。 昨年秋に開催した講演会の模様をお伝えします。

2023
11/16

OA（オープンアクセス）とプレプリントの現状と今後
—論文の新しい流通の形—

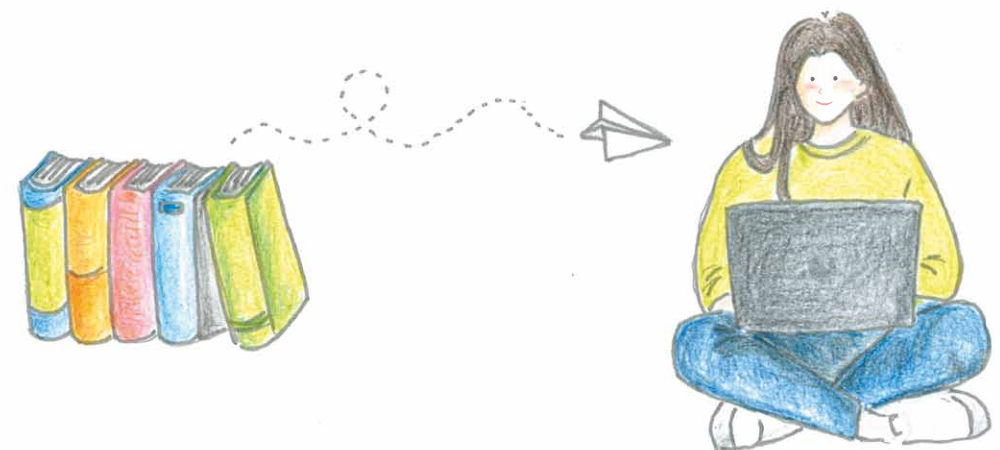
松岡キャンパス

オープンアクセスの意義や効果、また、プレプリントサーバへの投稿について現場で起きている状況をお話いただきました。
オープンアクセス投稿を推進していくことは、見られる機会、ダウンロードされる機会が早い段階で多くなることが説明され、参加者からは『論文の形態が変わりつつあることを学んだ』『プレプリントの仕組みについて知れてよかった』などの声が寄せられました。

講師：
EBSCO
Information Service, Japan
花田 謙一 氏

講演概要

- OAの効果：閲覧数の増加、引用数の増加
- OAの課題
 - ①論文の編集や査読がほぼない粗悪ジャーナルの存在
 - ②永久に閲覧できる保証がない
 - ※永久的閲覧の解決策として Portico、CROCKSS（福井大学参加）等ダークアーカイブの収集活動が重要
 - ③論文投稿料の上昇
- 早く出版する手段の一つオープンメガジャーナル
PLOS One、Scientific Reports
- 多角的な評価指標
 - ①IFから派生した座視評価指標（アイゲンファクターやSJR）
 - ②論文評価指標としてのオルトメトリクス
 - ③研究者の評価指標であるH-index
- プレプリントの活用
 - ①速報性 ②先取権（優先権） ③被引用 ④拡散性（SNS）



お得な 論文取り寄せサービス RapidILL

オープンアクセスになっておらず、さらに本学でも未契約のジャーナル論文などは、MyLibraryからお申し込みください。国内外の大学図書館から取り寄せます。
これまでは、国内からの有料の取り寄せサービスのみでしたが、海外の大学図書館から取り寄せるRapidILLを開始したため、平均24時間以内に届き、依頼者の費用負担なく取り寄せられるようになりました。
学生のみなさんも英語論文を必要とする場合、これなら気軽に依頼できるのではないのでしょうか。どうぞご活用ください。

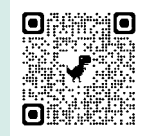
日本語論文で世界に飛び出そう！ JIG JAPAN にチャレンジしてみませんか？

人文社会科学系の研究者の皆さまに朗報です。研究者が英語か日本語で論文が出版できる、世界初の学術出版プラットフォーム JIG (Japan Institute Gateway) に参画しました。日本語論文で世界に研究成果を発表できる場となります。

講演特徴

- 二か国語対応のオープンアクセス出版
- 人文社会科学では日本語で出版可能となり、言語に関わらずオープンアクセス出版が可能となり世界で多くの読者を獲得
- オープンデータ・オープンコードに対応
- プレプリントサーバーの迅速性・柔軟な発信機能＋公開査読機能
- 研究発表の透明性を確保
- オープンにコミュニケーションを取りながら研究を前進させることができる
- 査読通過後はScopus、PubMedなどに収録
- オープンアクセス投稿料は約20万円 ※査読前に支払
- 分野に関わらず投稿が可能

JIGよくある質問



説明会を毎週月曜に開催しています。下記からお申し込みください。
<https://think.taylorandfrancis.com/book-a-consultation-jp/>



2.43 清陰高校男子バレー部 next 4years 〈Ⅱ〉

壁井ユカコ 著
集英社
総図 913.6ⅡKAB

福井が舞台となっているバレーボール小説の完結編。読んでいて絵や映像が浮かんでくるような、読み始めると止まらない作品でした。(教育学部4年)



ミシンと金魚

永井みみ 著
集英社
図 913.6Ⅱ2022Ⅱナ

一人の認知症患者の人生を体感できる一冊。いろんな想いがまわりついて、ほどけて、からまって、とろけて、つかみかかれて。嫌になるほどのリアルな質感を、あなた自身で体感してみてください。(医学部6年)



欺す衆生

月村了衛 著
新潮社
総図 913.6ⅡTSU

一人の男が完全な悪に染まるまでの半生を捉えた一冊。どの選択がここまで男の人生を変えてしまったのだろうか…。(教育学部2年)



権利のための闘争

イェーリング 著／村上淳一 訳
岩波書店
総図 321ⅡJHE

権利のための闘争とその思想は、グローバル化、ナショナリズム、経済的不平等が広がる現代でも、時代を超えて価値がある。法哲学を理解したい人にとって必読の書。(国際地域マネジメント研究科1年)



なぜ世界はEVを選ぶのか 最強トヨタへの警鐘

大西孝弘 著
日経BP
総図 537.09ⅡONI

自動車産業に大きく依存している日本は、今後どのように前進すべきでしょうか。この本は世界的なEVシフトという、自動車産業の大きな転換期を理解するための一冊です。(国際地域マネジメント研究科1年)



福大生と先生の

推し本!

学生の皆さんや先生方に図書館の本を選んでいただこうと、リクエスト本¹、教員推薦図書²、ブックハンティング³、ビブリオバトル⁴等々実施しています。選ばれた本の中から推し本への想いを表現していただきました。



フランク史

佐藤彰一 著
名古屋大学出版会
総図 235.03ⅡSATⅡ 1-2

高校の世界史に登場したフランク王国についてガチで書き上げた通史本があることが驚きでした。中性ヨーロッパ史や戦の歴史などに興味のある方々はぜひ読んでみてください。(工学部4年)



2023年度教員推薦図書の一部

教員推薦図書から

教育学部の風間先生 他2名の教員推薦

「関孝和全集」(岩波書店)

江戸時代の数学者である関孝和の書いた本を集めた全集。関孝和の数学研究の全貌と、関時代の数学を客観的に伝えようと編集されているとのこと、多くの示唆を与えてくれるため、教科算数基礎や算数科教育法などの講義や、学生の勉学に非常に有用である。



教員推薦図書



ビブリオバトル

ビブリオバトル⁴ 福井大会(北陸ブロック予選)を総合図書館にて2023年10月27日開催。
2回勝ち抜くと、首都決戦の切符を手にとれます。
今回参加してくれたバトラー(本の紹介者)は、本学+県立大の学生6名でした。
持ち寄った本は6冊で、チャンプ本は、足立翔さんの推し本「書桜弔堂破曉／京極夏彦」でしたが、どなたも甲乙つけがたく、どの本も読んでみたくまりました。

北陸ブロック決戦は石川県立図書館にて、バトラー4名、観客70名で11月に開催されました。残念ながら、本学から最終決戦には進めませんでしたが、今回の開催で、実は本好き+プレゼン上手な逸材が潜んでいることがわかり頼もしい限りでした。



¹ 学生個人が図書館に置いて欲しい本をリクエスト
² 先生が学生へのお薦め本をリクエスト
³ 学生が本屋で本を選んでくるイベント
⁴ 5分で推し本への想いを語る書評合戦

江戸時代の村における年貢負担

教育学部社会系教育講座

准教授 藤方 博之
FUJIKATA Hiroyuki

はじめに

昨年4月に福井大学に着任して総合図書館に何回か足を運ぶうちに、たくさんの歴史資料が所蔵されていることを知りました。なかでも最大の文書群が、今回取りあげる小島家文書です(本誌No.11~19では、長谷川裕子先生が小島家文書について連載しておられますので、あわせてご参照ください)。江戸時代、小島家の当主は坂井郡野中村(現・坂井市)に居住し、組頭(大庄屋)を務めるなど地域のリーダーとして活動していました。その活動に関連して作成・蓄積された文書類が、小島家文書の主要部分を構成しています。

地域の歴史を知るうえで重要な文書群ですから、私が担当する「日本史演習A」という授業でもテキストとして利用しました。小島家文書の一部は解説されて『福井県史 資料編』に掲載されています。そのなかから受講者それぞれが担当するテキストを決めて、現代語訳や歴史的背景の検討に取り組みました。演習室での議論を一通り終えた後、総合図書館にて原本を閲覧する時間を設けました(写真1)。それまで活字でみていたテキストの原本を手にとった受講者たちは、約300年前の史料にダ

メージを与えないよう注意しながら扱い、閲覧後は「想像していた形と違った」「越前で作られた和紙かな」などと感想を言い合っていました。

歴史資料に記された年貢

授業で取りあげたテキストで目に付いたのは、年貢に関する文書です。領主に年貢を納めることは、江戸時代の村々において最重要課題でした。例えば竹松村(現・坂井市)のある百姓が元禄9年(1696)7月に作成した文書からは、この人物が年貢納入のために借金をし、返済できず質入れしていた田畑を失ったことがわかります。そして領主側(幕府代官)に対し、江戸まで年貢米を運搬する際の「^{うわのり}上乘」に命じてほしい、と願い出ているのです(小島家文書1016)。上乘とは、海上輸送中の年貢米を監督する役です(『国史大辞典』)。大切な年貢米を間違いなく届けるため、村々のなかから担当者が選ばれました。江戸までの船旅は慣れない者にとってかなりの負担と考えられますが、この人物は上乘の手当を借金返済に充てようとしたのでしょうか。年貢負担が一人の人生を大きく左右している状況が窺えます。

低地の村々

翌元禄10年には野中村を含む36ヵ村が、困窮のために負担軽減を領主側に訴えています(長谷川裕子「災害・飢饉の世に生きる人びと」本誌No.11参照)。この訴状では当該地域の土地柄として、低地で水害が起りやすい、一方で用水の取水口が遠いため旱魃の年には水不足になると語られています。

このような土地柄は、年貢率にも反映されたとみられます。領主側が、その年の年貢量を村へ伝達する文書が年貢割付状です。小島家文書には野中村に交付された年貢割付状が122通含まれています(同村の領主変遷は

表参照)。これをみると年貢の中心である本途物成は、作柄によって増減し、概ね10~70石の範囲で賦課されています。野中村の村高(公定の生産高)は約435石なので、村高の約2~16%に相当します。本途物成以外の税目を含めても20%に達することはまれで、江戸時代の一般的な年貢率と比べて低いといえます(『福井県史』によると、福井藩領の年貢率は30%前後)。

とりわけ年貢率が低い年の例として、寛政元年(1789)の年貢割付状をみてみましょう(写真2)。この年は「水損虫付」すなわち水害・虫害があったとして大幅な控除が行われ、本途物成は1石9斗1升9合(写真の赤枠部分)、村高の約0.44%に抑えられました。桁違いの減税から、被害の大きさが想像されます。

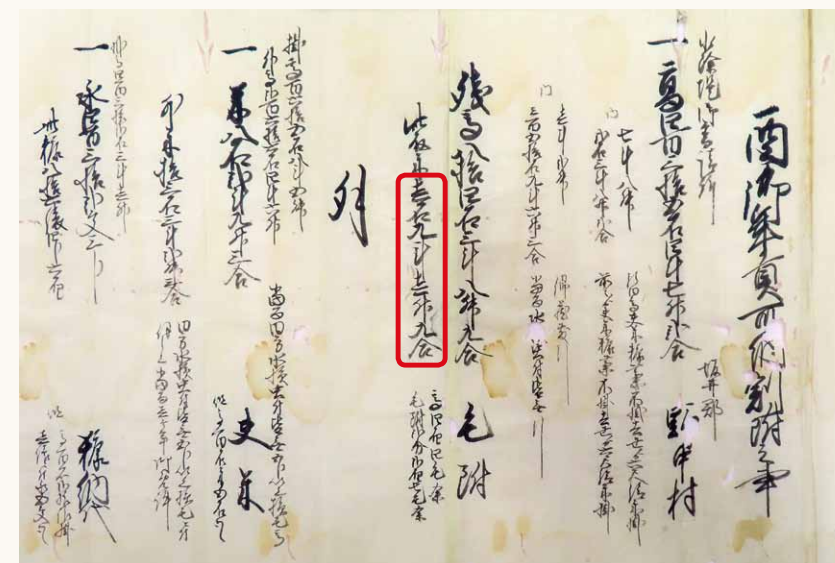


写真2 年貢割付状の例 (小島家文書 4439、部分)

現在の野中地区を眺めながら

稲刈り前の時期、野中地区に行ってみました(写真3・4)。現在の野中は、整備された大きな耕地一面に稲穂が実り、とても豊かな田園地帯にみえます。江戸時代の歴史資料から得た、米作りに困難が多く年貢量が抑えられたという情報との間にズレがあるのです。現在の光景が形づくられるまでに、治水・灌漑や農業技術の進展など様々な面で、人々の営みがどれだけ積み重ねられてきたのだろうかなどと考えながら帰途につきました。

今後も総合図書館に所蔵された歴史資料を手掛かりに、地域、そしてその場で生きた人々の実像に迫っていきたいと思います。



写真3 現在の野中地区 (2023年8月撮影)

表 野中村の領主変遷	
年代	領主
慶長5年(1600)~	福井(北庄)藩領
貞享3年(1686)~	幕府領
享保5年(1720)~	福井藩預所
文政元年(1818)~	福井藩領
文政3年(1820)~	福井藩預所

〔預所〕とは、幕府領のうち大名などに管理を委ねた土地のこと。〔野中村年々免写〕(小島家文書3393)、『日本歴史地名大系』により作成。



写真4 小島家跡に立つ記念碑 (「小島本家之跡」)



写真1 小島家文書原本閲覧の様子 (2023年7月撮影)

ようこそ、本の世界へ(7)

【公開講座】 たの 図鑑を愉しむ —ようこそ、図鑑の「沼」へ—



教育・人文社会系部門 教員養成領域
言語教育講座

准教授 膳吹 覚
IBUKI Satoru

日々図書館に出現し、館内の資料はもちろんのこと、国内の資料の取り寄せ、さらに数多の図書館を歴訪される図書館と資料の達人。本を入れるための鬼太郎のトートバッグが目印です。



会場の様子

福井大学の2つの図書館には、およそ45万冊以上の本が存在します。人生80年として、毎日欠かさず15冊読んでも読み切れないほどの量です。当然、その中には実に面白い本が多数あります。そんな本の一部を、書誌学を専門とする膳吹先生が紹介する『ようこそ、本の世界へ』シリーズ第7弾。今回は、「図鑑」です。

2023年7月15日に総合図書館で行われた公開講座「図鑑を愉しむ—ようこそ、図鑑の「沼」へ—」のレポートからお届けします。

図鑑とは 「同じ種類のものを集め、それぞれを写真や 絵を使って、わかりやすく説明した本」

『小学新国語辞典』(光村図書)の「図鑑」の項には、「同じ種類のものを集め、それぞれを写真や絵を使って、わかりやすく説明した本」という定義が書かれています。

この定義から始まって、「分類」「名称」という概念—それぞれを同じか違うか判断し、名づけること—に沿った編集を経たうえで、書物としての図鑑には、利便性を向上させるよう、巻頭に「目次」があり、その巻末に「索引」がつけられています。

着目すべきは図鑑の「絵」です。こうした正確で緻密な絵を描くためには、絵の技術はもとより、その対象物を観察する力が必要です。なお、図鑑と言えば昆虫や植物、恐竜などの生物を想起することが多いですが、現在では生物に限らず、哲学、歴史、建築、医学、服飾、妖怪(民俗学)まで多種多様な図鑑があります。



動物の分類と虫の図鑑



会場に陳列された図鑑を自由に閲覧後、1点選んで興味を持った理由など思い思いに発表。

図鑑の内容は最新の情報を 反映しているとは限らない

講義の後半(生物学・保科教員担当)は、生物学の見地から『樹木の葉』『樹皮』など花が掲載されていない図鑑や『クモの巣図鑑』など小学生が興味を持つであろうと思われる図鑑を選んで紹介しました。また図鑑の内容が最新の情報を反映しているとは限らないこと、図鑑は売り切れになり易く、その結果、入手困難な図鑑もあること、深度合成撮影技術の発展など、生物学の専門的な立場から図鑑の楽しさを説明しました。



保科先生

「図鑑を愉しむ—ようこそ、図鑑の「沼」へ—」この講座は教育学部の保科教員、膳吹准教授、そして図書館職員が共同で企画・開催したものです。

前半は保科教員と膳吹による講義が行われ、後半は受講者によるアクティビティとして、会場に陳列された総合図書館所蔵の図鑑を閲覧し、各自が最も興味を持った図鑑を1つ選び、その理由を発表していただきました。

今回は受講生を小学生以上と設定したために、9割が小学生とその保護者でしたので、講義やアクティビティは小学生に理解できる言葉と内容に心がけました。

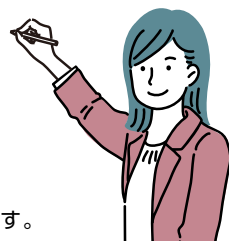
また、会場には保科教員をはじめとする理数教育講座の教員が、地学、天文学、植物学、昆虫学、理科教育など、それぞれ専門的な立場から選んだ図鑑も展示し、小学生に図鑑の楽しみ、更には理科の楽しみを知ってもらう機会を設けました。

今年の総合図書館での公開講座は、文京キャンパスの大学祭初日5月25日に開催します。タイトルは“『源氏物語』の楽しみ”です。『源氏物語』を〈書物〉(書誌学)の視点から、本学所蔵の『源氏物語』に関わる書物を幅広く取り上げて解説しますので、ご興味ありましたらご参加ください。

福井大学 公開講座

検索

「図書館＝資料だけ」 じゃないんです



図書館では資料だけでなく、皆さんの学習・研究支援のため、様々なイベントを行っています。どれも気軽に参加できるものばかりです。



中高生向けイベント「未来キャンパス」 案内スタッフをやってみませんか

総合図書館

2023年10月「福井大学未来キャンパス」を初開催。図書館は「図書館ツアー」と「本のリユース市」の企画で参加しましたが、今後も恒例の行事となりそうです。

中高生に、大学生活を身近に感じてもらう企画ですので、図書館ツアーは、大学生のお兄さん、お姉さんが案内するのがいいねということで、学生スタッフが案内します。ついこの前まで高校生だった皆さんに案内してもらうと格別かと思いますのでご応募お待ちしております。

医学科・看護学科生向け勉強会を行っています

医学図書館

ほぼ毎月1回、麻酔科蘇生科 細川 康二先生主催の“ほっちゃんのらくらく論文勉強会”を開催しています。医療情報について理解を深め、医療者として現場に出たとき役立つ医療情報の収集、評価、活用などを皆で学んでいきます。予約なしで自由に参加できます。



これまでの資料・動画



“こころのバリアフリー”について考えてみませんか？

バリアフリーは、スロープや手すりの設置などで物理的に障壁となるものを取り除くのに対し、こころのバリアフリーは、コミュニケーションや他者理解などを通して様々な人のバリアを取り除いていこうというものです。

本学障がい者相談室¹と共に、総合図書館では障害者週間（12月3～9日）の12月に展示、セミナー、体験会などを開催予定です。（医学図書館では展示のみ1月開催予定）

¹ 障がいのある学生及び教職員のための相談室



2023
セミナー講師
福井県立盲学校
岡島先生



セミナーにて白内障疑似体験

ノートテイクを体験してみよう！



耳が聞こえづらい学生のための支援方法です。「文字通訳」ともいい、講義の際に隣席で「耳の代わり」となり講義内容や教室内で起こっていることを、忠実に遅れずに筆記（手書きやパソコンを使用）していく同時通訳のようなものです。体験会では、専用ソフトを使い、流れてくる音声を文字に変換しますが、話し言葉を全て文字にすることはできないため要約するので、ノートテイクする人の講義への理解度なども問われます。なかなか大変ですが自分の能力が高められやりがいがあります。

手話って楽しいかも

総合図書館

図書館では、こころのバリアフリー展をきっかけに、手話を学びたい人が集まって試行錯誤しながら学んでいます。メンバーは聴覚障がいのある図書館スタッフはじめ、学生、教員、職員、学外者など様々です。手話に興味のある方でしたらどなたでも参加できます。松岡キャンパスの方もどうぞ。



体験申込みフォーム



世界のバリアフリー児童図書がやってきます

医学図書館

世界中から集められた障がいのある子供向けの本の展示と講演会を行います。

特別支援教育、支援ロボット、施設、医療…本学どの分野の方もかわりがあり、必ずや何か作用することと思います。どうぞご参加ください。



図書館のあるきかた

A Year of Library 2024

ご入学・ご進学おめでとうございます。
これからの1年間、学内・国内外の出来事と
共に図書館をお得に使うタイミングを
ご案内します。



新入生サポート相談会・図書館ツアー（4月）

ラーニングアドバイザーによる相談会や、図書館ツアーを行います。
単位の取り方やレポートの書き方、論文の探し方や美味しいラメ
ン屋でもなんでも聞いちゃお。

新紙幣が発行開始
パリ・オリンピック開幕
31- 前期試験

7・8 オープンキャンパス
7- 夏季休業
芥川賞・直木賞決定
パリ・パラリンピック開幕

TDLにファンタジ
ースプリングス開業

25・26 大学祭（文京）

4-6 オリエンテーション
6 入学式
10 本屋大賞発表

大学祭

文京キャンパスは5月、
松岡キャンパスは10月
に大学祭が開催。
総合図書館では公開講
座を開催します。

サークル展示・研究発表

図書館は、サークル展示や研究・活動
発表の場としても使えます。
例えば物理博物館や写真部展、管弦楽
団のコンサートや茶道部のお点前が披
露されました。



公開講座（5月）

本学では様々な研究成果を活かした学術的・文化的講座を地域
住民のため開催しています。図書館でも毎年開催しており、今
年は、5月25日に「源氏物語の愉しみ」が開催されます。貴重
な資料に触れられる機会です。どうぞご参加ください。

試験勉強（通年）

7月・1月の試験期に備え勉強といえば図書館でしょ。
友達と一緒に、グループ学習室（文京）、グループラボ（松岡）へ。
外国語学習ならLDCへ。
借りたい本を探す時は図書館ホームページへ。「マイライブラリー」
からは、借りている本の確認や貸出期間延長、本の予約、他機関
からの資料取り寄せなどなどいろいろできてオススメです。

本のリユース市（不定期）

年に1回、各館で不要になった
本をリユースしています。お宝本
があるかも。



絵本展と講演会（9月予定）

世界のバリアフリー児童図書展と講演会を
行います。海外での多様性のとらえ方を、
見て聞いてみませんか。 ➡ 16p.



1 後期授業開始
13・14 大学祭（松岡）
福大未来キャンパス 2024
「東京科学大学」設立
読書週間

米大統領選挙
投票

保険証がマイナ
カードと一体化

30- 後期試験
1月末 国試出発式（松岡）
芥川賞・直木賞決定

6- 春期休業

ビブリオバトル（11月）

5分スピーチで自分の推し本を語り、一番票を
集めた人が勝者。全国大会まで勝ち上がれば
タダで東京へ行けるのだ。 ➡ 10p.



研究室リレー（隔月）

本学でどんなことが研究されている
か知りたくないですか？
2ヶ月毎に研究室を変えて紹介します。
この研究、この先生いいね！が増え
るとあなたの未来につながるかも。



セミナー（随時）

卒論・修論・博論…と、大学生なら必ず書かねばならない
学術論文。論文を書くに際し、必要となる参考文献を探し
たり取り寄せたりするのも図書館の役割です。論文の探し
方書き方などのセミナーもご案内しています。

ブックハンティング（11月）

本屋で大人買い！
学生ポータル等から広報しますのでお見逃しなく ➡ 9p.



2023年度 図書館イベント

●総合図書館 ●医学図書館 ●両館

4月

- 物理博物館展
- 写真部春展
- 新入生を応援する本
- ようこそ、医学・看護の世界へ
- 新入生サポート相談会
- 医学図書館ツアー
- 医学部管弦楽団新入生歓迎コンサート
- おんがくとしよ
- 茶道部主催新入生歓迎茶会
- さどうとしよ
- 医学図書館の漫画コミック紹介
- 本屋大賞
- 研究室リレー（情動認知発達研究部門）
- 論文勉強会（毎月開催）

5月

- レポートなんて怖くない
- 図書委員会 WEB ミーティング
- 福井ことはじめ
- Chat GPT とは
- 文科省検定教科書展
- 新聞活用講座
- Reaxys トライアル
- Ebook Central 試読トライアル
- 研究室見学会

6月

- ラーニングアドバイザー開始
- 学生創作絵本展示
- 図鑑の世界「元素図鑑」
- UpToDate 利用登録会・説明会
- AIによる心エコー検査関連図書展示
- 目次読書法ワークショップ
- RapidILL トライアル
- 研究室リレー（子どものこころの発達研究センター）

7月

- メディカルオンライン電子ブックトライアル
- Maruzen eBook Library 試読
- 気になる本 直木賞・芥川賞
- 図鑑を愉しむ 生物図鑑
- 研究ミニトークウィーク
- 公開講座「図鑑を愉しむ」
- 教員推薦図書・勉学のすすめ
- 研究室リレー（環境保健学）

8月

- 図書館システム更新
- ふくだいプレスとハリー・ポッター新装版
- CINAHL with Full Text 講習会

9月

- 平井文庫
- 英語論文執筆セミナー

10月

- 植物分類学からみた昆虫
- 中高生のための未来キャンパス 2023
- 本のリユース市
- 研究室リレー（コミュニティ看護学）

11月

- ビブリオバトル
- RapidILL 導入
- 書を持って旅に出よう
- 教員推薦図書
- メディカルオンライン電子ブック購読開始
- 研究室リレー・繊維先端工学講座
- 学術講演会・オープンアクセス(OA)とプレプリントの現状と今後—論文の新しい流通の形—
- LA が教える ChatGPT 活用講座
- ブックハンティング

12月

- 研究室リレー（内科学2）
- Proquest Ebook Centra 試読サービス
- セミナー・21回臨床研究のすすめ
- セミナー・視覚障がい者と考えるこころのバリアフリー
- クリスマスコンサート
- 卒業生によるバイオリン演奏とトークイベント
- 「こころのバリアフリー展」

1月

- 教員推薦図書
- MEDLINE Complete 導入
- CINAHL Complete バージョンアップ
- セミナー・22回臨床研究のすすめ
- 週刊医学会新聞紹介本
- 研究室リレー・国際地域学部 江川研

3月

- 公開講座・世界とつながる、世界をつなげる—全盲の僕が「よく聴く人」になるまで
- 写真部展
- 研究室リレー・教育学部 黒田研

本のリユース市

重複などの理由で不要になった本を必要な方に届けるため、リユース市を行いました。約10日間の開催中、連日盛況で1,357冊の本が新たな持ち主に引き取られていきました。

再生紙になる前にもう一度皆さんの元で本が生き返るこのイベント、今年度も開催予定です。ぜひ、お越しください。



敦賀キャンパスに図書室ができます

本学への寄付金により、敦賀キャンパス図書室の図書204冊と書架を購入いたしました。ご寄付くださった方々ありがとうございます。大切に使用させていただきます。敦賀キャンパスの皆さま、楽しみにお待ちしております。

図書室には、原子力ライブラリ（原子力関係資料1300冊）も配架されます。こちらも蔵書検索ができるようになりましたのでご活用ください。



本学教員著書について

図書館では本学の教員著書を集めています。ご著書が出版されましたらご寄贈いただけますようお願い申し上げます。ご恵贈いただきました図書は下記のQRコードからご覧いただけます。



福井大学教員著書